

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2019年 10～12月期の景況 / 2020年 1～3月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、悪化傾向にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2019年10～12月期の実績と2020年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から13.3%の悪化となった。業種別では、建設業は0%から▲20.7%へ、小売業は▲10.0%から▲40.0%へと大幅に悪化、製造業は▲19.0%から▲29.4%へ、卸売業は▲9.1%から▲17.6%となった。サービス業のみ▲19.2%から▲16.7%へと僅かながら回復しているが、依然として全産業でマイナスという結果であった。

来期の新規設備投資については、今期よりも▲8.3%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、製造業以外の4業種で「従業員の確保難」(建設業は14期連続、卸売業は9期連続)が1位となった。さらに、建設業以外の4業種では「需要の停滞」が2期連続で3位以内を占めた。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

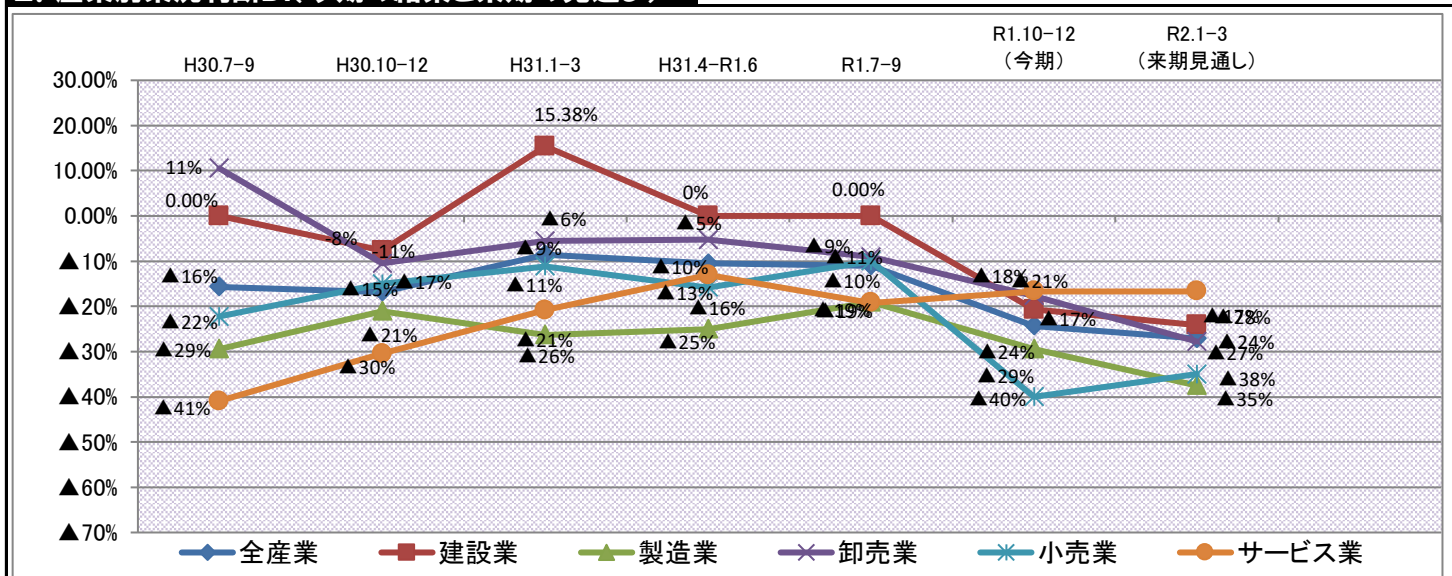
DATE

- 調査期間: 2019年12月13日～12月23日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 110社(81%)

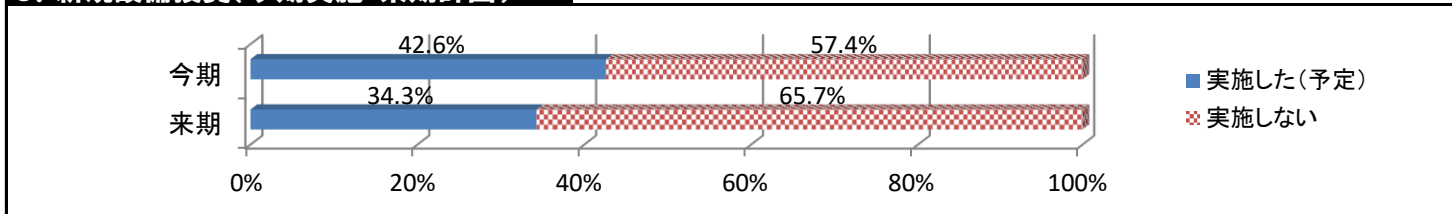
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲24.3%	▲13.3%	▲13.0%	▲20.7%	▲1.9%	1.52%	▲22.4%	▲7.2%	▲9.5%	▲4.4%
建設業	▲20.7%	▲20.7%	▲10.3%	▲6.6%	3.57%	0.12%	▲17.9%	▲11.0%	▲13.8%	▲13.8%
製造業	▲29.4%	▲10.4%	0.00%	14.29%	0.00%	4.76%	▲41.2%	▲12.6%	0.00%	4.76%
卸売業	▲17.6%	▲8.6%	▲33.3%	▲28.8%	▲5.6%	▲19.2%	▲16.7%	▲3.0%	11.11%	2.02%
小売業	▲40.0%	▲30.0%	▲15.0%	▲30.0%	▲20.0%	▲15.0%	▲20.0%	▲20.0%	▲22.2%	▲5.6%
サービス業	▲16.7%	2.56%	▲8.3%	18.59%	8.33%	31.41%	▲20.8%	6.09%	▲16.7%	▲1.3%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	28.4%	需要の停滞	18.4%	従業員の確保難	18.8%	従業員の確保難	14.8%	従業員の確保難	18.3%
2位	熟練技術者の確保難	20.5%	従業員の確保難	14.3%	需要の停滞	18.8%	需要の停滞	14.8%	人件費の増加	15.0%
3位	下請業者の確保難	11.4%	製品ニーズの変化への対応	10.2%	販売単価の低下・上昇難	12.5%	消費者ニーズの変化への対応	11.1%	需要の停滞	11.7%
4位	官公需要の停滞	10.2%	生産設備の不足・老朽化	10.2%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	10.4%	仕入単価の上昇	11.1%	利用者ニーズの変化への対応	11.7%